

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0784
施設名	なごみ保育園
施設所在地	東京都町田市原町田5-1-5
法人名	社会福祉法人七五三会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「光と影」

<テーマの設定理由>

乳幼児共に、遊んでいる時に自分の影に興味を持っている姿がある。日常生活の中でも、太陽光が反射してできた虹や光の動きに気づく等、光と影に興味を持つ場面が多く見られる。子ども同士や大人と関わり合い、試したり考えたりすることで「探求心・創造力」を育みたい。

2. 活動スケジュール

- ① 2025年 7月29日（火） ～光であそぼう～（4歳児）
- ② 2025年 9月17日（木） ～光の反射に興味を持つ～（4歳児）
- ③ 2025年 11月18日（火） ～色々な影を作ろう～（4歳児）
- ④ 2025年 12月日（ ） ～ブラックライトを楽しむ～（2歳児）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・カーテン（カーテンレール） ・レンガブロック ・白布 ・強力ライト ・iPad
- ・iPadケース ・レスキューテント ・懐中電灯（電池）

遮光カーテンやテントを使い、暗闇を作れるように環境を整えた。映し出せる布を用意し、影の存在を知れるようにした。子ども達が発見した光を撮影できるようipadを用意した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

カーテンを用いて暗い空間を作り、その中で光や影の写り方の違いなどに興味を持てるようにした。黒いカーテンには星形を貼り、懐中電灯で照らしてみることで、光り方や星空を楽しんだ。白いカーテンを使い、組み立てたブロックや自分の手を強力ライトで映し出し、影や形、光の通り方などの違いを探した。また、テントを使って、個室を作り内外からの光の変化を探求し楽しんだ。薄めの白布の中から懐中電灯で光をあて、目に入った不思議をipadにて撮影してみる経験に繋げた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

いつもと違う空間にわくわくした表情を浮かべていた。黒白、それぞれのカーテンに光を当てて見たときに、光がはっきり見えたり、光を通さなかったりする違いに驚いていた。ブロックを高く組み立てて光を当てた時、カーテンに映る影がライトの当て方によって大きくなったり小さくなったりすることの不思議さを楽しんでいた。テントの内外から懐中電灯で光をあて、どこに光が見えるか当てて遊ぶことを楽しんだ。テントという狭い空間ならではの光の楽しさも日頃体験できないのでとても喜んでた。生地の薄い白布の中から照らした光を探してipadで撮影する体験もまた、画像に映る光の



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

いつもと違う空間、部屋の暗さ、そこに光が差すという不思議さ、子どもたちはどれもとても興味、関心を示していて、テンションの高さを感じた。特別な設定ではあったが、子どもの興味を引き出す保育を行う楽しさを保育者も感じる事ができた。光と影を探しながら、次はどんな形や大きさで、どのように映し出されるか想像したり発見することもまた、子どもたちのにとって楽しさが広がっているように感じられた。また、日頃触れることが少ないipadでの撮影は、画像が手元で見れる